



第1001号

2006年7月16日発行

日本聖公会東京教区

港区芝公園3-6-18

編集人 伊藤裕元

WEB:http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL:comm.tko@nsk.org
Phone:03-3433-0987, Fax:03-3433-8678 Diocese Office

◇7月の代祷・信施奉献先
▽アジア学院の働きのため▽海
の主日(7月第2主日)のため
▽女性の家HELIPのため▽聖
公会八王子幼稚園のため

◆教役者レクイエム

7月19日(水)10時半

聖アンデレ主教座聖堂

説教者 司祭佐藤信康

▽司祭 後藤兼吉▽司祭 堀江謙
作▽司祭 多川幾造▽執事 永
田保次郎▽伝道師 ミスマンダ
▽司祭 E.H.アーノルド

▽信徒講座「教会史に学

ぶ」講師・竹内謙太郎司祭が
最終回を迎える。二〇〇三年9
月に開講して以来3期、計31講
座。7月21日(金)19時、教区

今週・来週の予定

7月16日~29日

- 16(日) 聖霊降臨後第6主日
主教巡回 聖パトリック教会
外濠G教会協議会(聖テモテ)
山手G教会協議会(聖十字)
多摩G教会協議会(聖マルコ)
環状G教会協議会(池袋)
- 18(火) 聖職養成委員会
- 19(水) 教役者レクイエム
- 20(木) 教役者会
幼稚園委員会
財政委員会
フェスタ・礼拝部会(香蘭)
- 21(金) 信徒講座=教会の歴史
- 23(日) 聖霊降臨後第7主日
主教巡回 立教諸聖徒礼拝
下町G教会協議会(千住)
城南G教会協議会
(聖ミカエル)
憲法講演会:信生委・正平協
催(聖バルナバ)
- 24(月) 礼拝音楽委員会
- 25(火) 銀座朝拝会
- 28(金) 主教座聖堂活動委員会

会館。「世界的に見た教会の
未来」。参加費500円。なお同師
による新講座「時代から時代
へ」が10月からスタート。
▽COAサマーキャンプ
「好きつ★」 12歳~18歳の中
高生世代に向けて参加呼び掛け
されている。8月21日(月)~
24日(木)、栃木県今市市・民宿

しんこう苑。申込締めは7月25
日。申込先〓聖マルコ教会。照会
電話080(5518)011
6. 【お詫びと訂正】時報第九八号
(7月2日)第3面「信徒講座に
参加して」記事中、次のようにお
詫びして訂正します。
2段8行目 徹底的↓俯瞰的
最後小筆、2行目共提案↓提言

(この用紙は再生紙を使っています)

聖職に按手されて三八年、教
会での牧会では冷や汗の連続
であった。その都度、自分の弱
さを痛感させられ、使命に遑
巡することもしばしばであつ
た。しかし、そのような困難に
直面した時に新たな恵みを頂
いた。特に、若いときに沢山の
気づきと勇気を与えられた。

《恵みに生かされて》-

弱い所に...

司祭 河野 裕道

そんなある日、「河野司
祭、しばらく礼拝に来ない方
のところへ訪問しましょう」と
と熱心な信徒からお誘いを受
けた。戸惑う私に「司祭がそ
こに一緒に居てくれるだけ
で、勇気を持って教会のこと
やお誘いの言葉が出てくるの
です」と促された。

訪問したご家庭で、誘って
くれた信徒の方は熱心に仲間
として加わって欲しいと伝え
ているようであった。日本に
居れば、一言アドヴァイスもできた
かもしれないが、「司祭である」こと
以外何も出来ない有様。司祭の存在
論の意味とでもいえるべき本質に気づ
かされた恵みのときであった。

(目白聖公会牧師)

三十年も前になるうか。韓
国・蔚山の教会に東京教区か
らの一員として遣わされたこ
とがあつた。意気に感じ、貧し
い韓国語を携えての厳しい状況への
挑戦であった。小さな韓国人会衆の
中に司祭として遣わされたのであ
る。韓国語での聖餐式もおぼつかな
い、ましてや込み入った牧師の働き
など出来るはずもない。厄介な聖職
を迎えて信徒たちも戸惑った。

信仰と生活委員会(6月30日)

*諸報告Ⅱ主教・宣教主事・各教会協議会・その他関連活動
 *3講座(講師Ⅱ竹内謙太郎司祭・雨宮慧神父・西原廉太司祭)の新規開講について進捗確認
 *正義と平和協議会との共催講演会(7月23日)の準備と、青年活動支援への確認と協議

信仰と生活委員会 &
 正義と平和協議会共催
憲法を変えると戦争をする国になるのですか?

講師・大宮溥牧師
 7月23日(日) 15~17時
 聖バルナバ教会
 照会・教区事務所宛

正義と平和協議会運営委員会(7月6日)

*信仰と生活委員会との共催講演会、合同ミーティングの確認
 *平和メッセージ(8月配布予定)の企画、手配など
 *韓国スタディーツアー「オウルリムの旅」(10月13~16日・20人)の企画・進捗、案内書作成、呼び掛けなど協議
 *日本聖公会女性会議(8月16~19日)へ4人の派遣(女性3人・男性1人)の確認など
 *協賛催事、支援活動の動向について報告と取組み

▽五本木九条の会(憲法を学ぶ)講演会「視力の回復を求めて」今、現実を生きたとい

うこと」が、7月26日(水)18時30分から聖パウロ教会で開かれる。講師は興石勇司祭(北関東教区志木聖母教会牧師・NCC議長)。参加歓迎。照会は会場教会へ、電話03(3710)6031。

◇夏季キャンプ(2)

▽東京聖三一教会がどうの木(日曜学校)デイキャンプⅡ7月16日・教会(東京聖十字教会日曜学校と合同の予定)
 ▽池袋聖公会ファミリアキャンプⅡ7月28日~30日・箱根スコレプラザ ▽目白聖公会子どもと過ごすファミリアキャンプⅡとうぶⅡ7月29日~31日・大田区休養村とうぶ(長野県東御市)

【学びと働きから】14

『日本聖公会聖歌集』発行

半世紀にわたり馴染んできた『古今聖歌集』が引退する。新しい聖歌集は、本年11月にも発刊される運びになった(点字版も同時刊行)。

94年総会で「聖歌集改訂委員会」が立てられて12年。委員会は現行祈禱書の使用に資する現代の福音理解に基づく聖歌、神の民・神の家族として歌える聖歌、『古今聖歌集』の伝統ある聖歌の継承、次世代へ残せる聖歌などの収録を心がけてきた。

01年に『改訂古今聖歌集試用版』を刊行。そこに収められた聖歌の多くは、『古今聖歌

集』歌詞を原詩にあたりながら新たに訳し直し、見直したもので、世界の聖公会・諸教派・諸共同体の聖歌集からの発掘、公募のものなども盛り込まれている。教区礼拝音楽委員会は勉強会や歌う会などを開催し、また各教会も様々な試みを行って委員会へ応答した。さらに試用版ガイドブック「心は賛美に満ちて」が刊行され、試用版を歌いまた理解する助けになっていた。

改訂作業が終了し、去る5月の総会で承認された『日本聖公会聖歌集』委員会は今、7月末の入稿へ向けより良いものの出版のため、『増補版95』『試用版』を含めた音符・文字一つひとつの確認、見直しを…。委員8名のほかに多くの

◇「新聖歌集」要項 ▽名称Ⅱ日本聖公会聖歌集▽A5判(試用版と同じ)・総頁約1250頁(重量Ⅱ約800g)▽聖歌曲数Ⅱ580曲・サービスマニージュック約200曲▽頒価2800円前後▽発刊Ⅱ11月

◇「古今聖歌集」等の使用 次の各「聖歌集」を公禱において用いることが5月、06年総会で許可された。次期総会(2008年)まで。▽日本聖公会古今聖歌集(1959年版)▽古今聖歌集増補版(1995年版)▽改訂古今聖歌集試用版(2001年版)

*本号と同時に「時報一〇〇〇号記念特別号」が別刷りで発行されています(教区略年表